

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ほとあ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日		～ 2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 9日		～ 2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種連携によるチームアプローチを大切にした支援の実施。	スタッフ一人ひとりの主体性を大切にしながらも、活動中の役割を明確化するなどし、多職種間で連携を取りながら、お子さまに対し充実した支援を行うことができるよう工夫している。	集団療育のみならず、個別療育を提供するうえでの多職種連携も積極的に行っていきたい。
2	基本支援に加えて専門的視点を取り入れた療育の提供。	5領域を中心とした基本支援に加え、各専門職による専門的視点を組み込んだ療育の提供を心掛けている。活動の意味・目的を明確化し、保護者様へも共有するようにしている。	おひとりおひとりの利用者様が楽しく、そして自分らしく安心して参加することのできる環境を大切にしていきたい。
3	目的に合わせて集団・個別を使い分けながら療育の提供を行っている。	個別支援計画のみならず、達成目標やお悩み、頑張りたいこと等を定期的に確認することで、個別支援計画の目標達成へと繋がるよう意識している。	個別療育の提供頻度、時間配分に課題を感じるため、より良い方法を模索しながら更なる工夫を重ねていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との連携	必要に応じて関係機関との連携を行っているが、移行支援を含め、就学に向けた支援の拡充や統一した支援を行っていけるよう連携をより積極的に行っていく必要があると感じる。	送迎時や担当者会議を含め、関係機関とのより具体的な情報共有や必要に応じて訪問を積極的に行っていきたい。
2	外出の頻度が少ない。	地域支援・地域連携の充実化を図るうえで、地域へ外出する機会を積極的に取り入れていくべきだと感じる。	地域支援・地域連携の拡充を図るためにも、住み慣れた地域の公共施設や公園を利用するなど、地域をより身近に感じられる機会を作っていけるよう検討していきたいと思う。
3	保護者会や懇談会などの家族支援を積極的に行っていない。	個別面談などは実施できているが、保護者会や保護者向け研修、懇談会など集団を対象とした交流の機会がないので、今後何らかの形で取り入れていきたいと思っている。	多機能型事業所であり、まとまった時間の確保が難しい。時間を確保するために、そして限られた時間の中でも良い方法がないかを具体化していきたいと思う。